

システム要件定義成果物サンプル&ガイド

DS-106：システム機能俯瞰図

第1.10版

2018年08月29日



この作品は [クリエイティブ・コモンズ 表示 - 継承 4.0 国際 ライセンス](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/) の下に提供されています。
要件定義フレームワーク©2018 TIS INC. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(表示-継承 4.0 国際)

1. 概要

システム機能一覧からシステムを構成するサブシステムを定義し、サブシステムを構成するシステム機能とサブシステム間の入出力の関係を可視化する。
システム機能俯瞰図は、「システム機能俯瞰図」と「サブシステム定義」で構成される。

2. 用途

- お客様と以下を合意する。
 - ・外部システムが網羅的に定義され、外部システムとの入出力の関係性が妥当であること。
- お客様にシステム機能一覧の確認を行う際に、システム機能の全体像をお客様に把握して頂くために利用する。

3. 記入要領

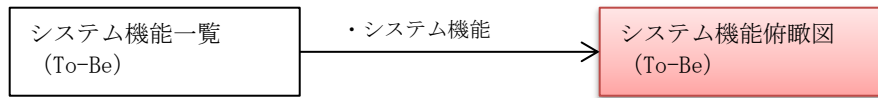
(1) システム機能構成図

No	記述内容	記述内容説明	補足
1	サブシステム名	定義したサブシステム名を記述する。	・システム機能一覧との対応関係 例えば、システム機能一覧の機能分類（L1）をサブシステムとして再定義し、その名称を記述すると対応関係が把握し易い。
2	システム機能名	定義したサブシステムを構成するシステム機能を記述する。	・システム機能数が多い場合 システム機能一覧の特定階層の機能分類名を記述すると良い。
3	外部システム名	構築対象のシステムと連携する外部システム名を記述する。	
4	システム利用者	構築対象のシステムを利用するアクター名を記述する。	
5	情報名	各サブシステムで管理する主要な情報を記述する。	
6	サブシステム間の関係	関連するサブシステム間に関連線を引き、主要な入出力の情報を記述する。	
7	外部システムとの関係	構築対象のシステムと外部システムの間に関連線を引き、主要な入出力の情報を記述する。	
8	システム利用者との関係	構築対象のシステムとシステム利用者の間に関連線を引き、主要な業務内容を記述する。	

(2) サブシステム定義

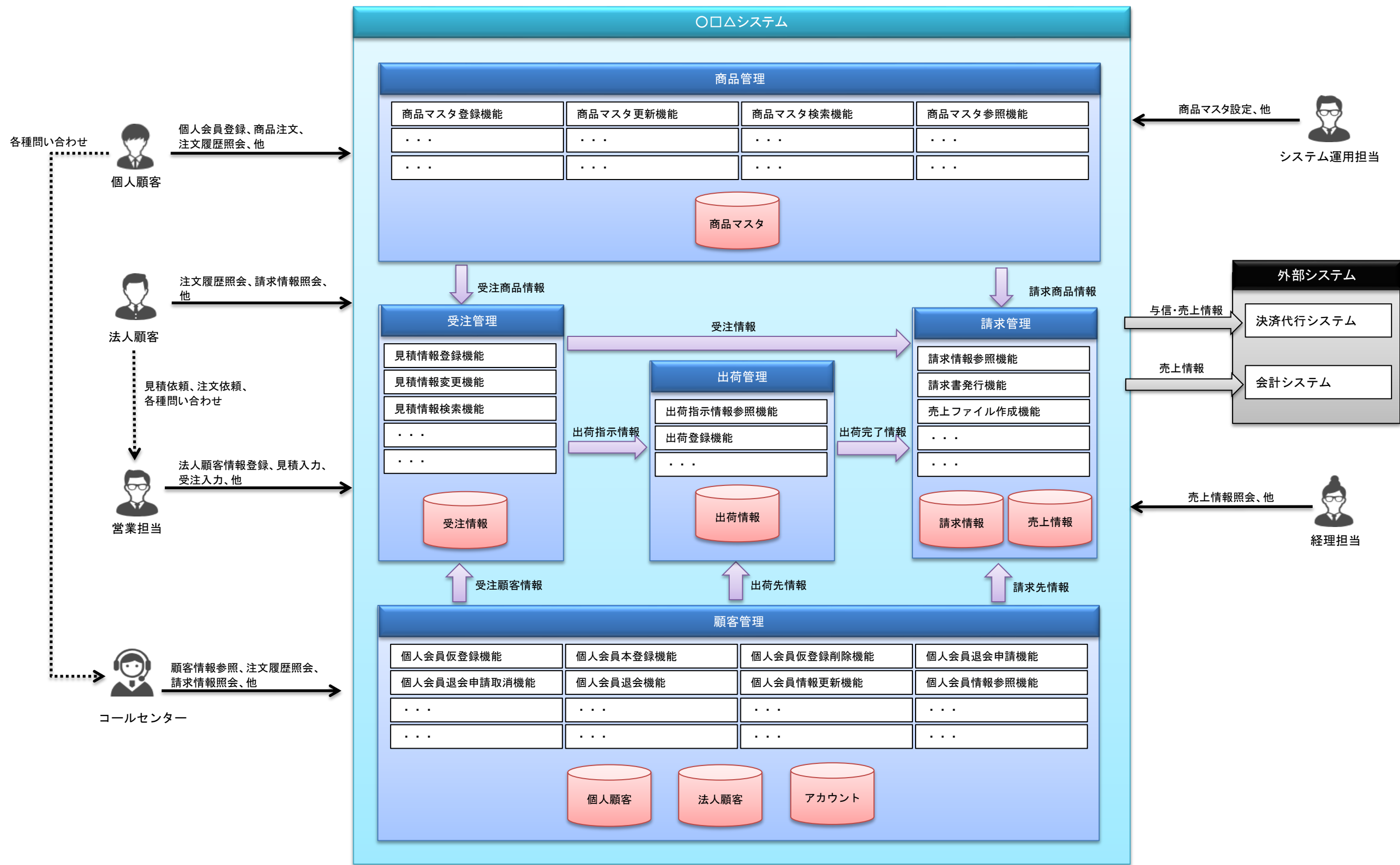
No	記述内容	記述内容説明	補足
1	サブシステムID	プロジェクトで取り扱うサブシステムを一意に特定するためのIDを記述する。	
2	サブシステム名	定義したサブシステム名を記述する。	
3	サブシステム概要	サブシステムで管理する情報の概要とサブシステム間の関係の概要を記述する。	

4. 他成果物との関係



5. 表記例

1. システム機能俯瞰図



2. サブシステム定義

サブシステム I D	サブシステム名	サブシステム概要	備考
AA	顧客管理	個人顧客と法人顧客の顧客情報の全般（顧客情報、アカウント情報、出荷先情報、請求先情報など）を管理する。 各サブシステムに顧客情報を提供する。	
BB	商品管理	商品マスタ情報(商品情報、料金情報など) の全般を管理する。 受注管理、請求管理に商品および料金情報を提供する。	
CC	受注管理	見積から受注までの受注情報全般を管理する。 出荷管理へ出荷指示情報を提供し、請求管理へ受注情報を提供する。	
DD	出荷管理	出荷指示から出荷完了までの出荷情報全般を管理する。 請求管理へ出荷完了情報を提供する。	
EE	請求管理	受注情報をベースとした請求書の発行から売上集計までの請求情報全般を管理する。 決済代行システムと会計システムに売上情報を提供する。	